

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市軸形成促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	協働で作成した構想における事業を関係機関と調整し、コスト縮減を図りながら実施する。また、整備完了後の地域活性化に繋げる方策を検討する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	【東鎌西口】国庫補助事業により道路の整備を完了させると共に、ポケットパークの整備も完了させる。また、整備完了後の地域活性化に繋げる方策を検討する。 【初富】関係機関と調整しながら概略設計を完成させる。
②①に基づく取り組み結果	【東鎌西口】関係機関と調整しながら電線類地中化工事を完了させ、道路整備工事に着手した。 【初富】関係機関と調整を図り、概略設計に着手した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	【東鎌西口】くらしのみちゾーン区域 【初富】初富駅前広場及びアクセス道路	意図(対象をどうするのか)	【東鎌西口】誰もが安心して歩くことができ、賑わいに満ちた中心市街地の形成を図る。 【初富】新京成線連続立体交差事業に合わせた駅前広場及びアクセス道路の整備を行う。
②事務事業の概要	都市軸の一翼を担う鎌ヶ谷駅西口周辺地区の無秩序な市街化に対処し、都市基盤整備の必要性、緊急性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図るため、鎌ヶ谷駅西口地区を国土交通省の施策である「くらしのみちゾーン」に登録し、事業等を地元とともに推進している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	【東鎌西口】ハード面の整備を進めている中で、ソフト面での地域活性化を推進させる必要があるが、地元関係者が高齢化している。 【初富】新京成線連続立体交差事業に合わせた整備を行うため、連立事業の進捗状況を見据えた調整が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	鎌ヶ谷駅西口地区については、地元ワークショップにおいて策定した整備構想に基づき、平成18年度までに整備計画を策定している。平成25年度は、市道30・3688号線における電線地中化工事委託の実施と市道30号線内における物件補償を実施した。また、初富駅前広場整備実施に要する駅周辺の現況測量を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	道路整備着手延長(東鎌西口)	0	0	300	m	業務取得
	ii	用地取得面積(初富)	1,268	1,279	0	m ²	業務取得
	iii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	-	-	52	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	353,338	103,644	金額(千円)	内容	128,459		
国支出金(千円)	60,500	52,800	99,062	電線地中化工事委託	47,850		
県支出金(千円)	0	0	1,680	初富駅周辺現況測量委託	0		
市債その他(千円)	273,200	46,200			35,100		
一般財源(千円)	19,638	4,644			45,509		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	【東鎌西口】ソフト面での地域活性化推進に向けて、地元との調整が必要である。 【初富】関係機関(連立事業者、道路管理者、警察)や関係地権者との調整が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	【東鎌西口】ソフト面での地域活性化推進に向けて、更なる検討が必要である。 【初富】新京成線連続立体交差事業に合わせて駅利用者の利便性や安全性を向上させるため、駅前広場及びアクセス道路の整備を促進する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	【東鎌西口】電線類地中化工事委託(引込・連系)、道路・駅広整備工事、照明灯補償 【初富】現況測量委託、概略設計委託						平成25年度事業費の状況(単位:千円)								
	計画事業費	予算額		決算額											
②計画に対する事業実績	【東鎌西口】電線類地中化工事委託(引込・連系)完了、道路・駅広整備工事着手、照明灯補償完了 【初富】現況測量委託完了、概略設計委託着手						183,750	184,804	当初	180,406	103,644	H24からの繰越	99,062		
③達成状況	未完了											H24⇒25繰越	100,000		
④未完了・非着手の理由	【東鎌西口】電線類地中化工事委託(引込・連系)の遅延に伴い、道路整備工事を繰越したため。 【初富】関係機関との協議に不測の時間を要し、概略設計委託を繰越したため。											補正	-96,656		現年分
									流用・充当	1,054	平成26年度への繰越額(単位:千円)			77,858	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	近隣商業拠点整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	〇
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	新規	③平成26年度に取組む改革・改善内容	関係機関(連立事業者、道路管理者、警察)と調整しながら概略設計を完成させると共に、関係地権者との調整を行う。
②①に基づく取組み結果	新規		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	北初富駅周辺	意図(対象をどうするのか)	新京成線連続立体交差事業に合わせた駅前広場等の整備を行う。
②事務事業の概要	近隣商業拠点の一つである北初富地区については、市民の日常生活に身近な商業等のサービス機能の充実を目指し、駅前広場等の整備に向け事業を推進している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新京成線連続立体交差事業に合わせた整備を行うため、連立事業の進捗状況を見据えた調整が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	北初富地区については、地元懇談会において策定した整備構想に基づき、平成18年度に「北初富駅周辺地区整備構想」を策定している。平成25年度は、北初富駅前広場整備実施に要する駅周辺の現況測量を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	事業着手箇所数	0	0	0	箇所	業務取得
	ii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	-	-	52	%	市民意識調査
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	492	金額(千円)	内容	1,787		
国支出金(千円)	0	0	492	北初富駅周辺現況測量委託	0		
県支出金(千円)	0	0			0		
市債その他(千円)	0	0			0		
一般財源(千円)	0	492			1,787		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	関係機関(連立事業者、道路管理者、警察)や関係地権者との調整が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新京成線連続立体交差事業に合わせて駅利用者の利便性や安全性を向上させるため、駅前広場等の整備を促進する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	現況測量委託の実施	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
	概略設計委託の実施	計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	現況測量委託は完了	3,500	2,865	当初	3,500	492	H24からの繰越	0
	概略設計委託は着手			H24⇒25繰越	0		現年分	492
③達成状況	未完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由	関係機関との協議に不測の時間を要し、概略設計委託を繰越したため。			流用・充当	-635			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		1,486		